

# 情報発信の 新たな展開に 向けて

## デジタルアーカイブの構築とIIIF

「蝦夷島奇観<地>[弓矢鞘之図]」(部分) (北海道大学附属図書館所蔵)

デジタルアーカイブによる資料の公開はこれまで多くの機関で取り組まれてきました。近年では、IIIF (トリプルアイエフ) という画像へのアクセスを標準化し相互運用性を確保するための国際的な規格が広がりを見せており、国内でもIIIF対応のアーカイブ構築事例が話題となるなど、デジタルアーカイブによる情報発信は古いようで新しいテーマの1つです。今回は資料保存・活用の観点からみたデジタルアーカイブ事業への取り組みやIIIF導入の事例についてご講演をいただき、これからのデジタルアーカイブに求められるものは何かを考えていきます。

2019

1/23 (水)

14:00-17:00

[会場]

北海道大学附属図書館  
本館 4階 大会議室  
(札幌市北区北8条西5丁目)

### ○プログラム概要

<講演>

## 1. バゼル山本登紀子氏

(ハワイ大学マノア校図書館  
アジアコレクション部部长)

## 2. 永崎 研宣氏

(一般財団法人人文情報学研究所  
人文情報学研究部門主席研究員)

<質疑応答、意見交換>

[対象]

デジタルアーカイブに関心のある方  
(研究者、図書館/文書館/博物館等にお勤めの方等)

[申込]

下記のURLまたはQRコードよりお申込みください  
<http://www.lib.hokudai.ac.jp/2019/01/08/59981/>

申込締切 1/18(金) 17時

終了後に懇親会を開催します(会費制)  
参加ご希望の方は申込フォームより  
お知らせください

[お問い合わせ]

北海道大学附属図書館 北方資料担当  
TEL: 011-706-2994  
E-Mail: [hoppo@lib.hokudai.ac.jp](mailto:hoppo@lib.hokudai.ac.jp)

